

カンパニーデラシネラ

芸術dance

ロミオとジュリエット

2016年 7月15日(金) ~ 18日(月・祝)

O Romeo,
Romeo!
wherefore
art
thou
Romeo?

◎ 東京芸術劇場
シアター・イースト

原作 / ウィリアム・シェイクスピア
翻訳 / 松岡和子
演出 / 小野寺修二





『ロミオとジュリエット』高知県立美術館(初演2011)、世田谷ものづくり学校(2011 撮影:田中亜紀)、東京都現代美術館(2012)、ダンストリエンナーレトーキョー(2012 撮影:MILLA)、岡山県「海の劇場」(2014 撮影:林田悟)

演出 小野寺修二
美術 石黒猛
出演 齊藤悠、崎山莉奈、王下貴司、大庭裕介、藤田桃子、小野寺修二

カンパニーデラシネラ ロミオとジュリエット

原作 / ウィリアム・シェイクスピア 翻訳 / 松岡和子

芸術dance

カンパニーデラシネラがお送りする観客参加型名作古典劇

イタリアを舞台にしたシェイクスピア悲劇「ロミオとジュリエット」。争いを続ける二つの名家、モンタギュー家とキャピュレット家。それぞれの一人息子と一人娘であるロミオとジュリエットは、出会って一目で恋に落ちてしまった。しかし、二人を巡って様々な事件や行き違いが起こり、やがて二人は大きな決断をする。

プロダクトデザイナーの石黒猛が本作のために製作した不可思議な道具と、デラシネラのパフォーマーの豊かな身体が非日常の世界を作り出す。舞台と客席の見えない境界線を取り扱ったスタイルで、観客はいつの間にか物語に参加していることでしょう。その場に居合わせた人にしか体験し得ない特別な時間です。

日程=2016年 7月15日(金)~18日(月・祝)

	15 金	16 土	17 日	18 月・祝
14:00		★	★	●
18:00		●	●	
19:30	●			

★…アフタートークあり
※受付開始は開演の1時間前、開場は開演の30分前です。

チケット料金(全席自由・日時指定・整理番号付・税込)
一般前売=3,500円 当日=4,000円
高校生=1,000円
中学生以下=無料(3歳以上) ※デラシネラHPにて要予約

特別早割期間あり 2016年5月22日(日)~6月11日(土)
一般前売 3,500円 → 3,000円 ※枚数限定

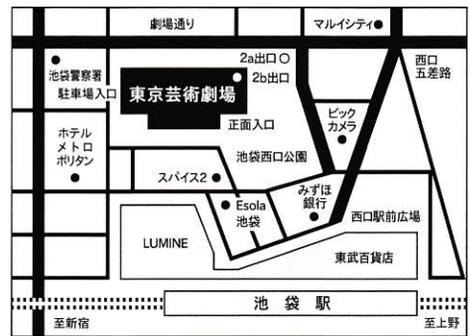
※東京芸術劇場ボックスオフィスでは一般と高校生の前売チケットを取り扱っています。
※デラシネラHPでは全券種のチケットをご予約いただけます。

チケット発売日=6月12日(日)

- チケット取扱い
- デラシネラHP <http://www.onoderan.jp/>
 - 東京芸術劇場ボックスオフィス
PC= <http://www.geigeki.jp/t/>
携帯= <http://www.geigeki.jp/i/t/>
 - チケットびあ 0570-02-9999 (24時間・自動音声応答) [Pコード:451333]
<http://pia.jp/t/> (PC&携帯)
チケットびあ店舗、セブン-イレブン、サークルK・サンクスでも直接販売

会場=東京芸術劇場シアターイースト

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
03-5391-2111 <http://www.geigeki.jp/>



【劇場行き方】
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅
西口徒歩2分。池袋駅地下通路2b出口と直結しています。

お問合せ
カンパニーデラシネラ derashinera@gmail.com
080-4434-1814



東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

カンパニーデラシネラ (Company Derashinera)

08年、小野寺修二セルフユニットとして設立。身体性に富んだ演劇作品に取り組み、マイムをベースに台詞を取り入れた独自の演出は、世代を越えて注目を集めている。国内での活動のほか、海外演劇祭への参加等多数。また、学校巡回公演や高校の芸術鑑賞会など次世代へのアプローチにも積極的に取り組んでいる。野外や美術館、アートフェスティバルなどへの参加も多い。白い劇場シリーズとして、15年3月にドストエフスキーの小説をベースにした「分身」、16年3月にアレクサンドル・デュマ・フィス『椿姫』を上演。



小野寺 修二 (Onodera Shuji)
演出家・カンパニーデラシネラ主宰

日本マイム研究所を経て、95年~06年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを設立。15年度には文化庁文化交流使としてタイやベトナムでワークショップと作品発表を行った。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。

〈近年の主な演出作品〉
『カラマゾフの兄弟』(12年/新国立劇場)、『変身』(14年/静岡県舞台芸術センター)、瀬戸内国際芸術祭2013にて野外劇「人魚姫」、岡山県・犬島パフォーミングアーツ公演『URA-SHIMA』(15年)など。

衣装 | 堂本教子 照明デザイン | 吉本有輝子 照明 | 木藤 歩、吉田一弥 音響 | 池田野歩 舞台監督 | 竹井祐樹 (STAGE DOCTOR) イラスト・チラシデザイン | チャーハン・ラモーン 制作 | 福島史子 協力 | 公益財団法人セゾン文化財団、シバイエンジン 企画製作 | カンパニーデラシネラ 提携 | 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 主催 | 株式会社デラシネラ

5月4日(水)・5日(木)《静岡》ふじのくににむせかい演劇祭2016「ストレンジジード」参加 6月11日(土)・12日(日)《愛知》穂の国とよはし芸術劇場PLAT「PLAT」小劇場シリーズ参加
6月14日(火)~7月13日(水)平成28年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業—にて埼玉・群馬・福島・栃木14校を巡回 6月24日(金)・25日(土)《広島》JMSアステールプラザ「HIROSHIMA演劇祭2016」参加
7月9日(土)・10日(日)宮崎/宮崎県立芸術劇場 他 8月6日(土)・7日(日)《石川》金沢21世紀美術館シアター21